

ろうさい病院つうしん

発行所:中部ろうさい病院

〒455-8530 名古屋市港区港明1-10-6 TEL: 052-652-5511
https://www.chubuh.johas.go.jp/ FAX: 052-653-3533

当院の理念

納得、安心、そして未来へ

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

院長就任のご挨拶

院長 丸井 伸行

4月1日をもちまして院長に就任いたしました。令和5年3月まで副院長として勤めさせていただき、退任後に三重県南部の僻地指定を受けている地域の中核病院に内科医として勤務してまいりました。都会と地方との違いはありましたが、私自身は中部ろうさい病院と同様に地域の中核病院が直面する多くの問題点に接する機会が得られ、臨床現場において有意義な時間を過ごすことができたと思っております。



この度思いがけず中部ろうさい病院に再び勤務することになりました。超高齢化社会においては、社会的には高齢独居、老老介護問題は避けられません。さらに各専門領域を備えた病院であっても、高齢化を含めた各々の患者さんの背景に充分配慮した診療が必要になっています。このため外科系、内科系すべての科において総合力を備えた診療が必要です。当院はこの点において各々の患者さんの背景に配慮した診療を引き続き進めてまいります。

今後とも地域の先生方と連携を密にして地域医療の要としての役割を果たすべく努力いたします。私自身もこれまでの経験を生かし名古屋市南部の中核病院としての運営に携わって参る所存でございます。様々な励ましやお叱りをいただきながら職員一同一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも中部ろうさい病院をどうぞよろしくお願い申し上げます。

第7回勤労者医療フォーラム

「就労と糖尿病治療の両立」を 開催しました

令和7年2月16日（日）に第7回勤労者医療フォーラム「就労と糖尿病治療の両立～正しい知識がダイアベティス（糖尿病）とスティグマ（偏見）を防ぐ～」を開催しました。

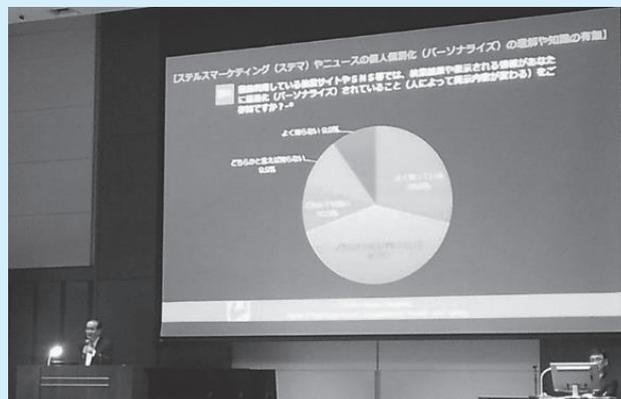
シンポジウム「就労のより良い環境構築を目指して」では、当院中島糖尿病・内分泌科部長が、労働者516名に糖尿病の健康情報の収集手段を調査した結果として、ほぼすべての情報がスマホにより取得されているが、情報の正しさを検証する行為は全体の6割程度、ステルスマーケティングの知識は7割程度であることがわかり、今後、ITリテラシーの啓発が重要と発表いたしました。また、トヨタ自動車(株) 七浦統括産業医より、「企業における健康管理と情報提供の取り組みの実態と問題点」、国立国際医療研究センター病院 小谷糖尿病内分泌代謝科医師より、「糖尿病にまつわる知識の普及とスティグマ～医師として患者として～」、(株)読売新聞東京本社 鈴木記者より「ダイアベティスの理解を広めるためにできること」について発表いただきました。

参加者からは、「糖尿病への偏見について認識していなかったが、医療従事者の思考や言葉が一因

プログラム

時間	演題・内容	講師
13:00	開会の辞	(独)労働者健康安全機構 大西理事長 (公社)日本糖尿病協会 清野理事長 (公社)愛知県医師会 柵木会長
13:10	基調講演 「糖尿病治療の現状と就労との両立における課題」	(一社)日本糖尿病学会 植木理事長
13:50	追加発言 「糖尿病治療支援とJADECの取り組み ～スティグマとアドボカシーを中心に～」	(公社)日本糖尿病協会 清野理事長
	「人生100年時代における産業保健～差別的取扱い防止に向けて～」	(公社)日本医師会 茂松副会長
	「治療と仕事の両立支援をめぐる最近の行政の動きについて」	厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 労働衛生課 佐々木課長
15:00	シンポジウム「就労のより良い環境構築を目指して」 「労働者の糖尿病に関する健康情報の収集手段とその問題点 －アンケート調査成績より考える－」	司会：中部労災病院 河村先生 中部労災病院 中島先生
	「企業における糖尿病に関する健康管理と情報提供の取り組み －実態と問題点－」	トヨタ自動車(株) 産業医 七浦先生
	「糖尿病にまつわる知識の普及とスティグマ －医師として患者として－」	国立国際医療研究センター病院 小谷先生
	「ダイアベティスの理解を広めるためにできること」	(株)読売新聞 医療部 鈴木記者
16:20	パネルディスカッション (パネラー：植木・茂松・佐々木・七浦・小谷・鈴木・河村・中島)	司会： (公社)日本糖尿病協会 清野理事長 中部労災病院 堀田名誉院長
16:55	閉会の辞	(独)労働者健康安全機構 中岡理事

であることを知り、正しい知識の啓発と、自身の言葉、行動に注意していこうと思いました。」「1型糖尿病の最近の動向や様々な立場や職業からの実際の取り組みを知り、本日学んだことを情報共有し、糖尿病に対する正しい知識の普及、啓発に努めていきたい。」等多くの感想をいただきました。



医師交代

●採用

令和7年1月1日付け

茜部 遼平 (専攻医)

令和7年4月1日付け

小島 隆生 (副院長、脳神経外科部長)

尾関 俊和 (腎臓内科部長)

長倉 正宗 (脳神経外科部長)

川井 久美 (病理診断科部長)

小野 玉美 (放射線科副部長)

武藤 優奈 (リウマチ科)

高原 邦彦 (循環器内科)

武田 慎一郎 (循環器内科)

中原 裕基 (外科)

寺野 瑞希 (脳神経外科)

渡邊 克典 (麻酔科)

林 詩織 (専攻医)

澤田 千晶 (専攻医)

上野 竜治 (専攻医)

大島 祐希 (専攻医)

勝見 周平 (専攻医)

山田 侃 (専攻医)

高 翔一朗 (専攻医)

宮田 茉由子 (専攻医)

川端 涼雅 (専攻医)

林 智之 (専攻医)

栗田 泰斗 (専攻医)

●退職

令和6年12月31日付け

鈴木 克尚 (耳鼻咽喉科副部長)

令和7年3月31日付け

加藤 真隆 (検査科部長)

圓若 幹夫 (脳神経外科部長)

松前 彰紘 (糖尿病・内分泌科)

三澤 尚史 (脳神経内科)

青木 亮磨 (消化器内科)

小山 雄一郎 (循環器内科)

大宮 康次郎 (外科)

佐久間 貴史 (脳神経外科)

柳川 茂雄 (放射線科)

大西 沙織 (専攻医)

若山 貴洋 (専攻医)

渡邊 唯仁 (専攻医)

齋藤 健一 (専攻医)

佐藤 翔一 (専攻医)

木造 優衣 (専攻医)

山森 惇士 (専攻医)

澤田 直輝 (専攻医)

川原 有輝子 (専攻医)

渡会 一輝 (専攻医)

大城 諒治 (専攻医)

●補職

令和7年4月1日付け

滝澤 直歩 (院長補佐、リウマチ科部長、検査科部長 (事務取扱))

渡邊 剛史 (院長補佐、総合内科部長)

松永 峻 (救急部副部長)

横井 英人 (呼吸器内科副部長)

福井 絢之郎 (整形外科)

茜部 遼平 (耳鼻咽喉科)

●休職・休業

令和6年12月3日付け

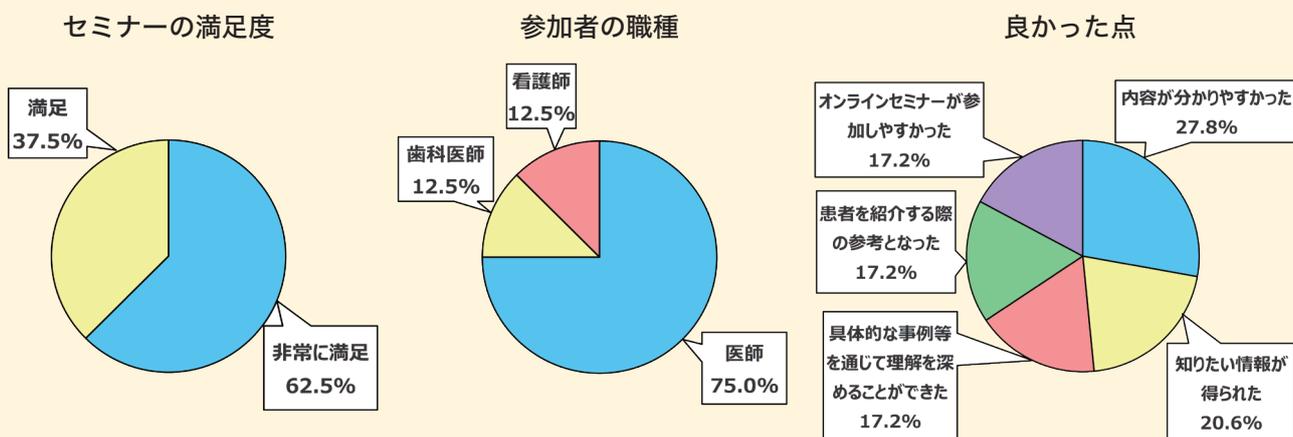
福田 夏帆 (専攻医)

地域医療連携室からのお知らせ

令和6年度 冬季病診連携セミナーを開催いたしました

令和7年2月13日（木）に中部ろうさい病院 冬季病診連携セミナーをオンライン形式にて開催いたしました。今回のセミナーでは、坂元泌尿器科部長より「群雄割拠！『ロボット支援下手術』は泌尿器科診療のナニを変えたのか、当院の特色とはナニか」、梅村脳神経内科部長より「TIA／軽症脳梗塞の初期対応について～地域医療連携の重要性～」について講演を行いました。オンライン形式による開催ということもあり、現地開催ではご聴講が困難な遠方の医療機関様にもご聴講いただくことができました。今後も、多くの先生方にご聴講いただけるよう、オンラインセミナーも活用しながら病診連携セミナーを開催していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

【アンケート集計結果】



令和7年度 夏季病診連携セミナー開催のお知らせ

今回は、夏季病診連携セミナーを金山駅前のホテルにて開催いたします。詳細等につきましては、決まり次第、改めてご案内させていただきますので、皆様ご参加いただけますと幸いです。

◎日 時：令和7年9月27日（土）17：00～18：00

◎場 所：ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋（名古屋市中区金山町一丁目1番1号）

※セミナー終了後には、連携医療機関の先生方との懇親の場として、意見交換会を開催させていただきます。

メディカルサポートセンター

平日 8：15～19：30 TEL 052-652-5950 FAX 052-652-5716

センター長：篠田 典宏（院長補佐）	連携課長：伊東 康（医事課長）
地域医療連携室長：秋山 幸一（事務局長）	連携係長：今関 信夫（医事係長）
入退院支援部門長：鈴木 陽子（看護副部長）	事務担当：今枝 智子